

第2回 厚木愛甲環境施設組合事業報告会 概要

名 称 第2回厚木愛甲環境施設組合事業報告会
日 時 平成30年2月18日(日) 午後2時から午後4時まで
場 所 厚木市環境センター 2階会議室
出席者 34人
組合9人、委託先コンサルタント5人

【概要】

1 開 会 2 挨拶

霜島副管理者) 皆様、こんにちは。厚木愛甲環境施設組合副管理者の霜島でございます。日ごろ、本組合事業に対しまして、格別なる御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本組合が計画しておりますごみ中間処理施設整備事業につきましては、金田地区の皆様のご理解、御協力をいただきながら2025年度の稼働を目指して順調に進んでおりますことについて改めて御礼申し上げます。

今年度につきましては、昨年度から着手いたしております環境アセスメント手続を進めているところで、この手続には約4年を要する見込みです。並行して都市計画決定の手続きを進めてまいります。本日は、組合構成3市町村並びに近隣の海老名市、座間市、綾瀬市の住民の皆様を対象に組合事業の進捗状況の御報告をさせていただきます。この報告会を通じて、更なる御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

3 報告内容

- (1) ごみ中間処理施設整備事業の概要について(資料参照)
- (2) 環境アセスメントの調査状況について(資料参照)
- (3) 施設整備計画の状況について(資料参照)

～質疑応答

参加者) 環境アセスメントの手続きの流れについてお聞きします。手続きの流れの中で事業着手の後に事後調査がありますが、この事後調査の結果はどのように公表されるのでしょうか。また、現地調査の結果は予測評価書案としてまとめられると思いますが、この予測評価書案の縦覧は、事後調査が完了するまで永久縦覧されると解釈してよろしいでしょうか。

回 答) 環境アセスメントの事後調査については、県条例で定められているとおり事後調査報告書を神奈川県に提出した後、県から公表されます。

また、予測評価書の縦覧期間終了後も組合においていただければ閲覧できるようにいたします。

参加者) 緑地整備について伺います。2年前に厚木市が地元説明を行った際、相模三川公園の予定地であった緑地エリアに相模三川公園の代替施設を整備するようなイメージの説明がありました。この件について自治会の隣組長会で説明があった際に私は、災害廃棄物置場とする場所に緑地を整備するのだから災害廃棄物を置く際の支障とならないよう、平坦な整備がされるであろうと見解を示しました。この見解に対して自治会長は「それは誤解です。」と明言されました。このことから、厚木市と自治会長の間にはこの発言を裏付けるやり取りがあったのだらうと思います。あたかも相模三川公園の代替施設が建設されるようなイメージを持たせたのですが、どのようないきさつでこのようになっているのでしょうか。今日は厚木市職員の出席がないようですが、その経過について御説明願います。

回 答) 組合では、厚木市と自治会との間のやり取りまでは承知しておりません。

参加者) 組合が知らないということであれば、厚木市に聞きますのでそれで結構です。

参加者) 厚木市環境センターを建設する際に金田地区から出された要望書には相模川右岸堤防道路の整備や三川橋梁の整備等が記載されています。金田地区は交通渋滞がひどい地域です。今回、新たな施設を建設されるということですので、鮎津橋から新施設の間の迂回路を整備されるべきだと思いますがいかがでしょうか。

回 答) この事業報告会でお話しさせていただいているのは、新施設の事業に関する件であります。御質問の内容は鮎津橋から直接海老名に渡る道路の計画があったということでしょうか。もし御発言がその内容であれば、この会の趣旨から外れていると思いますので、組合からの回答は控えさせていただきます。

参加者) 厚木市環境センターを作る際の金田地区からの要望書には、堤防道路から元町方面に抜ける迂回路を作るように記載されています。今回、新しい施設を作るのですから、同時に堤防道路の整備も行えば良いかと思いますが、このような対策を行う考えはないのでしょうか。

回 答) この事業報告会は、新施設に関する報告会ですので、この趣旨から外れるものについての回答は控えさせていただきます。

参加者) 説明があった交通量調査に、国道129号は1日35,000台の通行があるとされていることから分かる通り、金田地区は交通渋滞が激しい地域です。新施設の敷地の高さを堤防道路の高さに合わせるということも伺っていますので、同時に堤防道路の改修工事を行えば良いと思います。

回 答) 今回の報告会は新しい中間処理施設の事業に関する報告会ですので、道路計画の話は御意見として承りたいと思います。

参加者) 最初に、説明があったダイオキシンのデータについて伺います。ダイオキシンの測定場所1番をこの場所にした理由について伺います。

次に、厚木市環境センターは稼働開始から30年になりますが、各測定場所において土壌改良がされたかどうかの確認があるかについて伺います。

次に、④土壌汚染調査結果には棒グラフが示されているだけで測定値は示されていません、この測定値についてお聞きします。

次に、ダイオキシンの農薬由来とその他由来について分析された資料は作っていますか。

次に、今泉小学校の測定値は他の場所に比べて比較的大きな値になっていますが、その理由について考察されていますか。

次に、金田地区のダイオキシンのバックグラウンド濃度について、圏央道が建設された結果、車の排気ガスによる影響や厚木市環境センターの影響もあるかと思えます。これらの影響要素とバックグラウンド濃度についてどのように考えたら良いのか御説明ください。

回 答) 土壌ダイオキシンの実施区域内の調査場所については、中心に近い場所の現在桃園になっている所の南側で、現状が田圃ではない三角地を選定しました。田圃は日常的に耕すため土壌が攪拌されているので、耕されていないこの場所を選定したものです。

次に、今泉小学校の土壌ダイオキシンの数値は環境基準よりかなり低いものの、他の測定場所に比べて少し高くなっています。このため、この地歴を確認しましたが、今泉小学校は田圃だった場所に建設されています。また、この今泉小学校の測定データを基にして農薬由来と焼却由来について確認したところ、農薬由来よりも焼却由来の方が多い結果になりました。また、実施区域の測定結果では農薬由来の割合が多い結果でした。

参加者) 桃園の南側の三角地の場所は過去に土壌改良をしていたか確認できましたか。

回 答) そこまでは調べていません。

参加者) 毎年1回、厚木市から厚木市環境センター敷地内、ふれあいプラザ敷地内、浅間神社、金田自治会館の各場所で土壌ダイオキシン濃度の測定結果を報告していただいています。これらの点については今回の測定場所を選定するにあたって考慮する必要はなかったのですか。

回 答) それらのデータは既存資料として使いながら環境アセスメントを行っていきますので、それらの測定点を考慮する必要はないものと考えています。

参加者) 土壌改良をしたかどうかを確認しないで測定場所を決めて測定したということは、厚木市環境センターの影響は正確につかめないということになりますか。

回 答) 実施区域内の他の場所は水田ですので、水田ではないこの場所を選定しました。御指摘がありましたので予測評価書案を作成する段階では実施区域内の測定点の地歴についても説明できるようにしたいと思います。

参加者) 農薬由来とその他由来ダイオキシンについて分析していますか。

回 答) 農薬由来とその他由来のダイオキシンについては、CMB法で異性体パターン分析を行ってお

ります。これとは別に現環境センターの測定データを基にして農薬由来とその他由来について分析した結果は環境センターに由来する汚染はかなり小さいという結果になっています。特にダイオキシン対策が講じられた以降の影響については0.8%や0.2%となっています。

参加者) 測定値についてはどうですか。

回 答) 実施区域は81pg-TEQ/gでした。その他の測定点の値は、依知南小学校が5.8pg-TEQ/g、今泉小学校が79pg-TEQ/g、海西中学校が9.4pg-TEQ/g、清水小学校が5.7pg-TEQ/gでした。

参加者) バックグラウンド濃度についてはどう考えていますか。

回 答) あくまでも厚木市や座間市で行っている測定結果が示す濃度を現場のバックグラウンド濃度とする考えです。バックグラウンド濃度に計画中の施設の影響濃度がどの程度あるかを予測評価していく考えです。

これから作成する環境アセスメントの予測評価書案では、このバックグラウンド濃度を元にして計画施設の影響を解析します。皆様からの御懸念もありますので、予測評価書案の説明会においては厚木市環境センターの影響がどの程度あったのかについても御説明できるようにしたいと思います。

参加者) 配布された資料の中に厚木市環境センターのごみ処理の仕組みというものがありますが、この資料には安全な施設であるということアピールする内容を入れるべきだと思います。前にも私はこの件について申しましたが、新施設にはテロ対策や危険物の混入防止対策として危険物認証システムを導入するべきではないかと思いますがいかがでしょうか。

回 答) ただいま貴重な御意見をいただきましたので、今後、設計する中で検討していきたいと思えます。

組 合) 時間がだいぶ迫ってきましたので、質問はあと2名で終了させていただきます。

参加者) 説明資料7ページに⑦臭気調査結果がありますが、計画地に近い場所に住んでいる住民は日常的に臭気を感じています。計画地の南にあるごみ焼却場や西にある養豚場からの匂いが多いように思います。また、北の方からも同じような匂いが来ていると感じています。調査結果では年2回調査しただけで臭気については問題ないという結論を出していますが、そのような測定頻度で良いという根拠はどこにあるのでしょうか。

回 答) 通常環境アセスメントの臭気調査では臭気が問題になりやすい季節である8月に1回なのですが、今回は6月の梅雨時の測定も行っています。神奈川県技術指針では、臭気を適切に把握できる時期に行うと記されており、一般的には夏季に行っています。

参加者) 住民は1年中ここに住んでいるのですから、年間を通して調査していただきたいと思えます。以前にも申しましたが臭気は住んでいる場所や階によっても違います。特に、東南の風が吹く時に臭気を感じる人が多いと感じています。夏の暑い時などは窓を開けておきたいのですが、私の場合はアレルギーがあるせいか、窓を開けると頭痛がして開けられないのでエアコンでしのいでいる状態です。このことを議員等に訴えても、この地区には会社が多く

存在するのでそれが原因ではないかと言われて話がそれ以上進みません。厚木市環境センターの煙突を高くするよう要請しても、お金がないからと断られてしまいます。新施設が金田に建設されることは仕方がないと思っていますが、このような被害を少なくするためにも高い煙突を希望しています。

回 答) 御指摘の内容は神奈川県技術指針に基づいて実施しているということで御理解いただきたいと思います。

参加者) こうした住民の訴えを議員や市長にも聞いていただきたいのです。先ほど副市長が挨拶されましたが、帰ってしまいました。これでは住民が置かれている状況などは理解できないと思いますので、報告会が終るまでこの場に居て住民がどのような意見を持っているのかを肌で感じてほしいのです。

回 答) 会議で出た御意見は、その度に雰囲気も含めて報告をしています。先ほどお話がありました煙突の高さにつきましては説明の中にもありましたとおり、地元の皆様の要望を反映して基本計画の高さよりも高くする方向で検討しているところです。

参加者) 建設対策部会から最近、回覧で周知はありましたが、過去において私たちの意見を聞かれた覚えはありません。また、過去4年間の建設対策部会のメンバーが誰なのかさえも金田住民に知らされていませんでした。

回 答) 組合としては、地元の皆様の御意見を伺いながら進めてきたと考えています。ただいまのお話は御意見として受け止めさせていただきます。

参加者) 煙突だけではなく相模川を渡って海老名の方に発電した電気を流すための鉄塔が建設されることも聞いています。建設対策部会の会議の中で煙突の高さを検討する際に使った景観の写真がありましたが、新たに建設される鉄塔も加えた景観写真を作って、このような報告会等の場で説明していただければ、理解しやすいかと思っておりますので、そのようにお願いいたします。

回 答) 景観等につきましては、今後、鳥観図等も作ってお示ししたいと考えておりますのでよろしく申し上げます。

4 厚木市環境センター焼却施設の見学

施設見学の後解散

《第2回 厚木愛甲環境施設組合事業報告会の様子》

